

化炭素(〇〇)中毒死事故で、90年に北海道帯広市で死亡した2人の遺族ら5人が同社に計約1億8000万円の賠償を求めた訴訟の控訴審は14日、札幌高裁(山崎勉裁判長)で遺族4人と同社との間で和解が成立した。

和解内容はパロマ側が▽計1億2290万

める――の2点。事故現場のアパートを運営していた男性も原告だが、和解は成立しなかった。

1審・札幌地裁は11年3月、全国2件目の同種事故が起きた87年までに安全対策を講じる義務があったと判断、約1億円の支払いをパロマに命じた。双

くすことが役割だと痛感している。亡くなった方のご冥福を祈り、遺族に改めてお悔やみ申しあげる」とのコメントを出した。

同様の訴訟は東京・大阪・名古屋の3地裁でも起こされ、大阪と名古屋では和解が成立している。



て約4300棟の浸水被害をもたらした。気象庁によると、15日も近畿地方は気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、激しい雨などに注意が必要だという。

京都府警などによると、14日朝に自宅が流された同府宇治市の西山栄三さん(69)と妻初

京都府では約2100棟が浸水し、山田啓二知事は自衛隊に出動を要請。宇治市内の2地区が孤立、自衛隊などのヘリが食料を届けたい。府は同市への災害救助法の適用を決めた。大阪府内でも浸水被害は14市町の約2200棟に上った。

【まとめ・石川隆宣】

地裁栃木支部 携帯ゲーム機「プレイステーション・ポータブル(PSP)」で違法ソフトが使えるよう改造したメモリーを販売したとして、不正競争防止法違反(技術解除装置等の販売)罪などに問われた栃木県足利市大前町の無職、清水優一被告(29)に対し、宇都宮地裁栃木支部は14日、懲役2年、

髄液減少症

障害年金認定に事例集

厚労省 早期救済要望に応え

激しい頭痛を伴う「脳脊髄液減少症」を巡り、厚生労働省が今春、障害年金の認定作業で医師が参考にする事例集を作り、年金を運営する日本年金機構

に示していたことが分かった。この病気は研究途上のため理解が深い医師も少なくなく、日常生活に深刻な支障をきたしているも各種の社会保障制度で「障害年金」を申請する者が

「疲れやすい」「歩行困難」「腕や手の痛み、しびれ」など幅広い症状を挙げた。また患者によって症状にはばらつきがあることも分かった。

こうした患者らが障害年金を申請する過程で「障害の程度を客観的に判断することが難しい」との声が認定医から寄せられたため、厚労省は脳脊髄液減少症の過去1年間の認定例約10件を分析。この

病気に詳しい医師の意見を聴き、等級ごとの「認定事例」としてまとめた。

厚労省の担当者は「障害年金は、病名にかかわらず、日常生活への支障の程度で支給すべきか判断するもの。病名で不公平があるのではならない。公平で適正な認定の参考にしてもらいたい」と話す。

「脳脊髄液減少症患者・家族支援協会」の中井宏代表は「この病気が理解されないの

【渡辺暖】

が、同病名で障害年金を申請せざるを得ない患者もいた。今回の対応を大きく評価したい」と話している。

「公的支援ありがたい」受給者

埼玉県内の女性(53)は今春、脳脊髄液減少症で「日常生活が著しい制限を受ける程度の障害がある」として、障害年金の2級15号に認められた。

08年5月、乗用車に乗って停車中に追突された。最初は「頸椎捻挫で2週間のけが」と診断されたが、頭痛や腰痛、耳鳴り、目のぼ

やけなどの症状はひどくなるばかり。5カ所目の医療機関で脳脊髄液減少症と診断された。治療で症状は改善したが、寝たり起きたりの状態が続いている。歩くにもつえや歩行器が必要で、仕事も休み続けている。

加害者側の損害保険会社は「むち打ち症にすぎない」と認めず、賠償は事故から4カ月分しか応じなかったため、これまでに治療費や交通費などで1700万円以上の持ち出しがあったという。これまで支給された障害年金は約200万円だが、女性は「公的な支援は本当にありがたい。他の患者さんたちも金銭的に困窮している」と話す。

障害年金 考齢、遺族年金と同じ公的年金制度の一つ。年金事務所や市区町村などに申請する。加入要件や納付要件に加え、認定医による障害等級の認定が必要。障害基礎年金には1級(12年度は年98万3100円)と2級(年78万6500円)がある。さらに厚生・共済年金加入者には1〜3級と障害一時金の上乗せも支給される。

毎日希望奨学金

東日本大震災で保護者を亡くした遺児を応援する「毎日希望奨学金」を受け付けています。

郵便振替 毎日新聞東京社会事業団

震災救援金

郵便振替、現金 郵便振替、現金 郵便振替、現金

すが、「東日本大震災救援金」を

東京UFJ銀行東京営業部(普通0322122)。口座名は毎日新聞東京社会事業団震災救援金。

